

2010年4月1日

2010年度入社式社長挨拶

日本興亜損害保険株式会社 取締役社長 兵頭 誠

2010年度入社式における「社長挨拶」を下記の通りご案内致します。

【要旨】

- ・当社と損害保険ジャパン社の共同持株会社であるNKSJホールディングスがスタートした。
- ・NKSJグループが目指しているのは、徹底したお客さま視点ですべての価値判断を行い、お客さまに最高品質の安心とサービスを提供し、社会に貢献するソリューション・サービスグループとなること。
- ・お客さまの「信頼」を高め、グループの「成長」を支えていき、それが社員に新たな「成長」の機会を与え、お客さまからの「信頼」を確立していくことが最も重要。
- ・『成長』『信頼』No. 1」という共通標語を設定。
- ・グループ全社員が「成長」と「信頼」を共通のキーワードとして強く意識し、自らの日常業務において誇りと自信を持った行動につなげていくことにより、お客さまから最も選ばれる企業グループになることを目指す。
- ・新たな成長分野にも積極的に事業展開していく予定であり、グループとしても個社としても、チャレンジ可能な領域はさらに広がる。
- ・新入社員の皆さんにとっても、活躍できるフィールドはより大きくなるとともに、数多くの成長の機会を得ることができる。
- ・新入社員の皆さんに期待することは「失敗を恐れないでほしい」「信頼される人になってほしい」「自分のキャリアは自ら意思表示をすることで切り拓いていく」の三点。
- ・当社が成長するために最も必要なことは、社員一人ひとりの成長であると確信している。
- ・日本興亜損保の社員としての使命感と誇りを持ち、どのような場面においても自らの力を十分に発揮し、思いきりチャレンジしていただきたい。
- ・それぞれの職場で、一人ひとりが「主人公」として輝き、活躍することを大いに期待している。

【2010年度入社式概要】

- 開催日時 : 2010年4月1日 午前9時30分～10時00分
- 開催場所 : 日本興亜損害保険株式会社 霞が関本社ビル
- 出席新入社員数 : 249名（地域採用を含めた全採用者296名のうち）
- 式次第 : 社長挨拶／役員紹介／先輩社員歓迎の言葉／新入社員代表挨拶

【全文】

皆さん、入社おめでとうございます。

日本興亜損保の役職員を代表して、またNKS Jホールディングスの共同CEOとして、この会場にいらっしゃる皆さんを始め、全国296名の新入社員の皆さんを心から歓迎するとともに、日本興亜損保およびNKS Jグループの一員としてお迎えできたことを、大変嬉しく思います。

今、皆さんは、大きな喜びと期待感そして緊張感をもって、ここにおられることと思いますが、この想いを忘れることなく、また、ご家族を始めこれまでお世話になったすべての方々への感謝の気持ちをもって、新社会人としての生活をスタートしていただきたいと思います。

さて、本日、2010年4月1日は、皆さんが社会人としての第一歩を踏み出す記念すべき日ですが、当社にとっても新たな一歩を踏み出す大きな節目の日です。

本日、当社と損害保険ジャパン社の共同持株会社であるNKS Jホールディングスが、いよいよスタートしました。私も共同CEO 兼 代表取締役会長として、NKS Jグループの発展に全力を尽くしていこうと、気持ちを新たに今日のこの日を迎えました。そして、皆さんは、NKS Jグループ発足と時を同じくして入社された、まさにNKS Jグループ第一期生です。ぜひ、皆さんとも、NKS Jグループの目指す姿を共有しておきたいと思います。

当社と損保ジャパン社は、時代や環境の変化、それに伴うリスクの多様化やお客さまのニーズの高まりを的確に捉え、柔軟かつタイムリーに対応するために、共同持株会社を設立し経営統合しました。

NKS Jグループが目指しているのは、徹底したお客さま視点ですべての価値判断を行い、お客さまに最高品質の安心とサービスを提供し、社会に貢献するソリューション・サービスグループとなることです。そのためには、社員一人ひとりがお客さま視点で品質向上に取組み、お客さまの「信頼」を高め、グループの「成長」を支えていき、それが社員に新たな「成長」の機会を与え、お客さまからの「信頼」を確立していくことが最も重要です。

これを「『成長』『信頼』No. 1」という共通標語に託しました。グループの全社員が「成長」と「信頼」を共通のキーワードとして強く意識し、自らの日常業務において誇りと自信を持った行動につなげていくことにより、お客さまから最も選ばれる企業グループになることを目指します。

国内損保市場は3メガグループ体制となり、新たな時代を迎えましたが、当社と損保ジャパンは、約120年に及ぶ歴史の中で両社が培ってきた特色・強みをひとつのグループとして共有するとともに、様々な分野で連携し、システムや事務などの標準化・共通化によるシナジー効果を発揮することにより、収益の向上、企業価値の拡大、社会への貢献を実現させていきます。そして、当社と損保ジャパンそれぞれが有する強力なブランド力、顧客基盤、販売基盤、独立系のメリットを最大限に活かし、お互いが切磋琢磨しながら個社としてもさらに成長していきます。

今後、NKS Jグループは、損害保険事業を核として、新たな成長分野にも積極的に事業展開していく予定であり、グループとしても個社としても、チャレンジ可能な領域はさらに広がります。したがって、皆さんにとっても、活躍できるフィールドはより大きくなるとともに、数多くの成長の機会を得ることができるようです。そして、皆さんの活躍とともに、日本興亜損保も大きく飛躍していきたいと思っております。

それでは、これから皆さんが日本興亜損保の社員として、NKS Jグループの一員として、そして社会人として成長していくために、私が皆さんに期待することを三点、お話ししておきたいと思います。

この三点は、私が2007年4月に社長に就任以来、毎年新入社員の皆さんにお話ししてきたことであり、私が長い会社生活の中、自分自身の基軸として守り続けてきたことでもあります。

一つ目は、「失敗を恐れないでほしい」ということです。

何か行動を起こせば、つまづくことや失敗することが一度や二度、必ずあるはずですが、しかし、失敗から学ぶこともたくさんあり、その経験は将来必ず役に立ちます。失敗を恐れて何もしない人より、結果が失敗に終わったとしても、自ら行動を起こした人のほうが成長していくものです。そのような皆さんの前向きな姿勢や行動は、必ず誰かが見ており、フォローしてくれるはずですが、よく部下は上司の背中を見ていると言われますが、上司も部下の背中を見ているものです。失敗することは勇気の裏返しでもあり、決して恥ずかしいことではありません。

私は、毎年入社してくる新入社員の皆さんに、「あなた達には失敗する権利がある」と言っています。ですから、皆さんも、若いうちにどんどん失敗し、一つずつ経験を積んでいってください。何事にも好奇心を持ち、当事者意識を持って積極果敢に正面から向かって行ってください。そして、自ら考え自ら行動することができる人になっていただきたいと思います。

二つ目は、「信頼される人になってほしい」ということです。

そのためには、どんな時でも「ごまかさない」「逃げない」「裏切らない」、この3つの基本動作を実践することです。

私は、その人にどれだけ能力があるかという前に、「どれだけ信頼できるか」ということが優先されるものだと思っています。いくら有能であっても、人を裏切ったり、苦しみを共に分かち合うことのできない人には、仕事を任せることができません。

これから皆さんは、お客さまや代理店さん、一緒に働く上司や先輩など、多くの人々と関わりながら仕事をしていきますが、これらの人々との信頼関係を築いていくことがとても大切です。保険業という社会的公共性の極めて高い仕事に携わる者としても、皆さんには、常に相手への思いやりや尊敬の気持ちを持って、「ごまかさず、逃げず、裏切らず」、何事にも正直に、誠実に、素直な気持ちで取組んでいただきたいと思います。

三つ目は、「自分のキャリアは自ら意思表示をすることで切り拓いていく」ということです。

自分の考えは勇気をもってはっきりと示すことが大事です。

当社は、社員の役割や立場に関係なく、何でも言える風通しの良い会社です。職場の上司や先輩も、皆さんの意見や考えをしっかりと聞いてくれるはずですが、そのためにも、「自分で考える」「本気で考える」という、人としての大切な基礎力を身につけてください。

また、皆さんは保険会社で働く者として、専門的な知識を備え、お客様や市場のニーズを敏感に感じ取り、柔軟に対応することができるプロフェッショナルな社員になっていただきたいです。そのためには、保険の基礎知識はもとより、広く金融全般、また業界以外の様々な知識や情報も積極的に吸収するという前向きな姿勢で、常に自己研鑽に取り組むことが必要です。ぜひ、「自ら学ぶ姿勢」を持ち続けてください。そのような社員には、責任ある仕事を与え、大いに活躍していただくと考えています。

一昨年のリーマンショックに端を発した世界的な経済環境の悪化は、なかなか回復の兆しが見えず、日本経済も厳しい環境が続いています。そのような時代だからこそ、本来のあるべき

姿に立ち返り、新しい発想をもって柔軟に取り組んでいくことが大事だと思います。

私は、日本興亜損保の「あるべき姿」は、保険事業を通じて社会に貢献し、お客さまに最高の安心と安全を提供し続けていくことであり、この使命と責任を果たすことによって、お客さまからこの世の中になくてはならない存在であると評価され続けることであると思っています。

そして、当社が永続的に発展していくためにも、皆さんのような若い力が必要です。だからこそ、私は常に「社長としてのエネルギーの50%を人材育成に注ぐ」と言ってきました。当社が成長するために最も必要なことは、社員の皆さん一人ひとりの成長であると確信していますし、この想いはこれからも変わることはありません。

皆さんには、日本興亜損保の社員としての使命感と誇りを持ち、どのような場面においても自らの力を十分に発揮し、思いきりチャレンジしていただきたいと思います。そして、それぞれの職場で、一人ひとりが「主人公」として輝き、活躍することを大いに期待しています。

最後に、皆さんが心身ともに健康で、信頼される立派な社会人として大きく成長されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

以上

平成二十二年四月一日

取締役社長 兵頭 誠